

第2回 酒田港脱炭素化推進協議会 議事概要

日時： 令和5年12月22日（金） 15:00～16:20

場所： ガーデンパレスみずほ 3階 鳥海

【議事概要】

(1) 酒田港港湾脱炭素化推進計画（素案）について

○ 水素や洋上風力などについては産業振興を行うということが大事であるので、県の産業労働部や環境エネルギー部が推進力をもって進めていただきたい。

○ KPIにおいて、例えば酒田港でどれだけを再生可能エネルギー由来にするといった数字の目標が必要と感じた。ロードマップでも再生可能エネルギー電力の利用拡大とあるので、この部分の数値目標があった方がわかりやすいと思う。

（事務局）検討する。

○ 再生可能エネルギー由来の具体的な数字は、来年度以降も協議会が継続され、フォローアップを行う前提に立つと、洋上風力の事業者等が決まり、系統連系も含め電力をどのように陸地に持ってくるかが明らかになることで計画に落とし込めるのではないかと。それが明らかになるのは、少なくとも2～3年後になるため、そういったタイミングで数字を具体化していくという考え方もある。

○ 水素関連の産業振興の取組については、県としても今年度から力を入れている。10月16日に水素関連部品製造のセミナーを実施し、主に県内企業から87名の参加をいただいた。個別のマッチングまでは至っていないが、水素は今後有望な分野のため、引き続き力を入れていきたい。

(2) 今後の予定

パブリック・コメントの意見対応後は座長の確認をもって策定・送付することについて了承を得た。

(3) その他

- 酒田港に水素ステーションを県ないしは第3セクターという形で設置して頂くのが起爆剤になるのではないかと考えたので、検討していただきたい。

- 水素ステーションの整備については、今年度から県としても強力に進めたいということで、民間事業者への補助事業の創設などの取組を進めている。今後の水素ステーションも含めた展開に向けて、参考にさせていただく。